

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」  
 に関する北海道の中長期目標一覧

分野	主な対策内容	中長期の目標（上段：目的、下段：目標）及び5年後（令和7年度）の達成目標
河川	河道掘削、堤防整備、遊水地の整備等	近年の浸水被害状況などを踏まえ、流下阻害や局所洗掘等によって、洪水氾濫による著しい被害が生ずる恐れの高い河川について、流下能力を向上させる。
		洪水等に対応した河川の整備率（河川整備計画策定済みの延長約1,500kmの整備率） 現状：56%(令和元年度) 5年後の達成目標：約71% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和32年度→令和27年度)
砂防	砂防えん堤の整備、地すべり対策施設の整備	地域の社会・経済活動を支える基礎的インフラの保全対策を完了することで、土砂災害が社会・経済活動に与える影響を最小化し、国土強靱化を図る。
		基礎的インフラ（要対策箇所87箇所）が砂防事業の実施により保全される割合 現状：約18%(令和2年度) 5年後の達成目標：約35% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和32年度→令和27年度)
海岸	堤防高を確保するための対策や消波施設の整備等	気候変動による海面水位の上昇等が懸念される中、巨大地震による津波や災害リスクが高い沿岸域の高潮等に対し沿岸域における安全性向上を図る津波・高潮対策を実施する。
		津波・高潮対策に必要な海岸堤防等の整備率（津波や高潮災害等に対応していない区間の延長約40kmの整備率） 現状：約33%(令和2年度) 5年後の達成目標：約64% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和32年度→令和22年度)
道路	橋梁、トンネル、道路付属物等の老朽化対策	緊急又は早期に措置すべき道路施設の老朽化対策などを実施することにより防災・減災、国土強靱化を図る。
		北海道が管理する道路橋のうち緊急又は早期に対策を講ずべき橋梁（約5,700橋の内数）の修繕措置率 現状：約52%(令和元年度) 5年後の達成目標：約73% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和43年度→令和35年度)
農業	農業水利施設の老朽化、豪雨・地震対策	農業水利施設の老朽化や巨大地震の切迫化を踏まえ、老朽化対策や豪雨・地震対策を集中的に実施することで、適切な予防保全サイクルの下での施設機能の維持・発揮を確保する。
		更新が早期に必要と判明している基幹的農業水利施設等(427km)における対策着手の達成率 現状：53%(令和2年度末) 5年後の達成目標：中長期の目標と同じ 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和9年度→令和7年度)
漁港	漁港施設の耐震・耐津波・耐波浪化等の対策	地震や津波・高潮等により、防波堤や岸壁等の主要施設の機能を確保できない危険性が高い漁港の被災リスクを低減する。
		拠点漁港(183漁港)において、地震・津波に対する主要施設の安全性が確保された漁港の割合 現状：約20%(令和2年度末) 5年後の達成目標：55% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和21年度→令和18年度)
治山	山地災害危険地区等における治山施設の整備・強化等	土石流等の山地災害等のリスクが高い地域の整備の推進により、重要インフラや集落等を保全する。
		現時点で把握している土石流等の山地災害等リスクが高い山地災害危険地区(382地区)の実施率 現状：約66%(令和2年度末) 5年後の達成目標：約80% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和20年度→令和18年度)
森林	山地災害危険地区等における間伐等の森林整備、林道の整備・強化	土石流等の山地災害等のリスクが高い地域の整備の推進により、重要インフラや集落等を保全するとともに、重要な林道等の整備・強化により森林被害の早期復旧や継続的な森林整備対策を確保し、林業・山村地域のレジリエンスを向上させる。
		<森林整備> 現時点で把握している土石流等の山地災害等リスクが高い山地災害危険地区(382地区)の実施率 現状：約66%(令和2年度末) 5年後の達成目標：約80% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和20年度→令和18年度) <林道> 防災機能の強化に向けた排水施設の整備、法面の保全等による特に重要な路線(86路線)の整備・強化実施率 現状：約40%(令和2年度末) 5年後の達成目標：約70% 中長期の目標：100% 達成年次の前倒し(令和20年度→令和18年度)